

営 農 情 報

令和元年8月2日発行

大豆の病虫害防除について

本年は高温多湿の気象条件が続いており、「灰色カビ病」「菌核病」「斑点細菌病」が発生しやすい状況です。また、降雨後には「茎疫病」の発生が危惧される為、下記薬剤にて防除をご検討下さい。

現在、多くの圃場で着莢が見られ、予察結果からも「ダイズマメシクイガ」の発生が確認されております。着莢の見られる圃場は加害期間に入っていますので防除を実施しましょう。

・各病気に有効な薬剤

薬剤名	使用倍率	散布水量 (L/10a)	使用 回数	茎疫病	灰色 カビ病	菌核病	斑点 細菌病
プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	100～300	2回	○			
フェスティバルC水和剤	1,000倍	100～300	3回	○			○
ロブラール水和剤	1,000倍	100～300	3回		○	○	
プライア水和剤	1,000倍	100～300	4回		○	○	

・「ダイズマメシクイガ」に有効な薬剤

回数	薬 剤 名	使用倍率	使用 回数	備 考
1回目	プレバソンフロアブル	4,000倍	2回	展着剤加用
2回目	バイスロイド乳剤	1,000倍	3回	カメムシにも効果有り
3回目	エルサン乳剤	1,000倍	2回	カメムシにも効果有り
	プレバソンフロアブル	4,000倍	2回	展着剤加用

防除の際にはドリフトに十分に注意しましょう。

J A み ね の ぶ 営 農 販 売 課

TEL 0126-67-2334

FAX 0126-67-2803